

イザヤ書を理解するための 7つのポイント

みくに学園ディボーションナル 2022/10/04

(一社) イザヤ研究所インターナショナル
下川 健一

アブラハム・ギレアディ博士

- 1940年オランダ生まれ
- 幼少期に家族でニュージーランドに移住
- 20代でイスラエルに移住・ラビ養成学校で学ぶ
- BYUで古代中近東学と古代ヘブライ語聖書を専門に学ぶ
- 博士論文：イザヤ書の文学構造の分析
- 古代ヘブライ語のイザヤ書を現代英語に翻訳
- 博士課程後さらに10年の研究
- 執筆活動・講演活動

“ギレアディ博士の翻訳文は明快で滑らかであり、ヘブライ語の原文で伝えられているイザヤ書の力と美しさを読者に理解させてくれる。”

イリノイ州, ウィートン・カレッジ
ハーバート・M・ウォルフ教授

“ギレアディ博士は、わたしが知るかぎり、イザヤ書を本格的かつ適切に研究し、教えるための準備が十分にできている唯一の末日聖徒の学者である。”

ユタ州, ブリガム・ヤング大学
ヒュー・ニブレー教授

信仰に関する講話 6 （抜粋）

※翻訳：下川健一

「それではここで、あらゆることを犠牲にすることを求めない宗教は、命と救いを得るために必要な信仰を生み出すのに十分な力を決して持たないことに注目しよう。それは、人が最初に存在するようになって以来、命と救いを享受するために必要な信仰は、この地上のものすべてを犠牲にしないかぎり決して得られなかったからである。すなわち、人が永遠の命を享受できるのは、この犠牲により、すなわちこの犠牲によってのみであると、神が定められたのである。また、この世のものすべてを犠牲にすることにより、人は自分が神の目に喜ばしいことを行っていることを実際に知るのである。……

信仰に関する講話 6 （抜粋；続き）

※翻訳：下川健一

……人が真理のために、その持てるすべてを犠牲としてささげ、自らの命さえ惜しまず、神の御心を行うことを望むがゆえにそのような犠牲をささげるように召されたことを、神の御前において信じるならば、その人は、自分の犠牲とささげ物を神が今も将来にもわたって受け入れてくださることと、自分が無益に神の御顔を求めてきたのではなく、今後とも無益に求めることはないことを、このうえなく確かに知るのである。このような状況下においてこそ、永遠の命を得るために必要な信仰を得ることができるのである。」（第7節）

ヘブライアス財団・イザヤ研究所

- 学術的な研究と分析を通じて、聖典に見られる重要な文学的パターンについての認識と理解を広めるボランティア団体
- 預言者イザヤのメッセージを世界中に伝える
- 著作物はいかなる宗教、教会、宗派の見解を示すものでもない

(一社) イザヤ研究所インターナショナル

- イザヤ書のメッセージを日本語で広める
- 他の言語圏での活動を支援する

多くの協力者の兄弟姉妹の賜物と犠牲と愛、主の恵みの結晶！

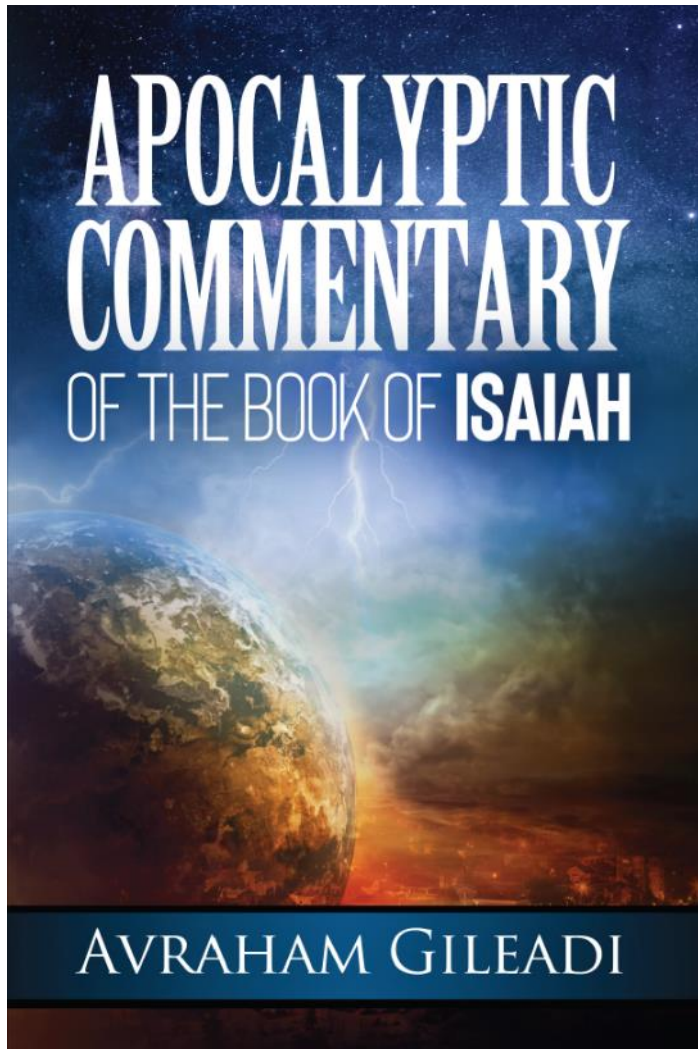


イザヤの神学と預言の概要とイザヤ書の翻訳文



イザヤ書を調べるためのガイド。文学手法の入門編

現在準備中



『イザヤ書の黙示録的解説』

イザヤ書の一節ずつの解説

なぜイザヤ書は今大切なのでしょうか

1. これから起こることがすべて記されている（3ニーファイ23：2－3；イザヤ30：8；48：6）
2. イザヤの予言はまさに成就しつつある（2ニーファイ25：7-8）
3. 主にお会いし、さらなる光と知識を得るには、主のすべての御言葉を守る必要がある（教義と聖約93：28；136：37；JS創世記9：21－23；3ニーファイ26：6, 9-10）
4. 主が語られる「すべてのことに耳を傾けない者はすべて、民の中から絶たれる」（3ニーファイ20：23；21：9－11）
5. イザヤ書はすべての聖文を理解する鍵となる

イザヤを理解するための 7つのポイント

アブラハム・ギレアディ博士による

イザヤを理解するための7つのポイント

1. イザヤ書を理解するのは終末まで待たねばならなかった
2. ヘブライ語からの翻訳は意味を伝えるものでなければならない
3. イザヤ書は終末のシナリオであり、歴史のシナリオでもある
4. イザヤの預言は予型によって語っている
5. イザヤ書は文学手法によってつながったネットワークを構成している
6. イザヤの預言は、二種類のメシアについて語っている
7. 天国へのはしごを示す七つの霊的な段階が描かれている

1. イザヤ書を理解するのは終末まで待たねばならなかった

- イザヤ書は終わりの日のために書き記された預言書

「さあ行って、彼らについて版に書き記しなさい。
それを**終わりの日のために書物に記し、永遠の証としなさい。**」

イザヤ30：8

「……イザヤの預言が成就する日に、すなわちそれらの預言が事実となるときに、人々はそれが確かであることを知るであろう。」

2ニーフアイ25：7

- イザヤが用いた文学手法は近年まで知られていなかった

2. ヘブライ語からの翻訳は意味を伝えるものでなければならない

- ヘブライ語訳の意味や感覚をできるだけ反映させる必要がある
 - 詩の形態
 - ニュアンス
 - キーワードである言葉の翻訳は、一貫している必要がある

3. イザヤ書は終末のシナリオであり、歴史のシナリオでもある

- イザヤ書の文学的構造は、現代に向けた神の預言的メッセージを明らかにする上で、重要な役割を担っている。
- 文学的構造と、イザヤ書の各節は、森と木のようなもの。
- イザヤは森の骨組みを作り、そこに木々を植えている。
- 本質を理解するためには、文学の基本的なパターンについての知識が不可欠。
- 線形構造は、最初から最後まで時系列に沿ったものである。
- イザヤ書全体が、終末のたとえになるような文学構造になっている（同期構造）。

森＝文学構造

7つの包括的な構造がイザヤ書の全体的な構成を形作っている。7つの構造によって、森の骨組みが組まれ、一節ずつの木々が植えられている。

文学構造（構成）の例：線形構造

起

承

転

結

日本でなじみのある文学構造の例。
物語を効果的に伝えてくれる。

自国での困難

外国への追放

歓喜の帰還

線形構造：歴史的な物語の流れ

章	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66
中東文学手法	自国での困難 第一の脅威(アッシリアの王)																																外国への追放 第二の脅威(偶像礼拝)										歓喜の帰還 第三の脅威(偽りの兄弟)																							
終わりの時の預言	悪人に下る裁きと滅び																																ダビデのような王の出現										義人の解放と確立																							
契約	契約の呪い																																契約の祝福																																	
七部構成	① 荒廃と再生		② 反抗と従順		③ 懲らしめと解放		④ 屈辱と昇栄					⑤ 苦しみと救い		⑥ 不忠実と忠誠		⑦ 廃嫡と相続		① 荒廃と再生		② 反抗と従順		③ 懲らしめと解放		④ 屈辱と昇栄		⑤ 苦しみと救い		⑥ 不忠実と忠誠		⑦ 廃嫡と相続																																				
分割	← 前編																																← 後編 →																																	

二分割七部構成（同期構造）

- a**—荒廃と再生（イザヤ1－5章；34－35章）
- b**—反抗と従順（イザヤ6－8章；36－40章）
- c**—懲らしめと解放（イザヤ9－12章；41－46章）
- d**—屈辱と昇栄（イザヤ13－23章；47章）
- c**—苦しみと救い（イザヤ24－27章；48－54章）
- b**—不忠実と忠誠（イザヤ28－31章；55－59章）
- a**—廃嫡と相続（イザヤ32－33章；60－66章）

4. イザヤの預言は予型によって語られている

- イザヤの預言には、神聖な歴史は繰り返されるというヘブライ的世界観が色濃く反映されている。

3ニーフアイ23:2-3

「〔イザヤ〕の語ったことはすべて、彼の語った言葉のとおり到现在まで起こっており、またこれからも起こるであろう。」 ➡ 過去に起こったことは未来にも起こる。

- イザヤは古代の出来事や人物、国々をたとえや予型として用いている
 - 例1) 古代のアッシリアは、当時の世界を軍隊によって征服したため、終わりの日における世界を軍隊によって征服する国家連合のたとえ/予型となる。
 - 例2) 古代のエジプト（イザヤ19章）は、アッシリアに対抗できる唯一の超大国として小国に頼りにされていたが、政治的にも道徳的にも退廃の一路を進んでおり、アッシリアに滅ぼされた。エジプトは終わりの日において、同様に世界中の小国に頼りにされる超大国のたとえ/予型となる。
- イザヤはたとえや予型によって予言するという方法で、古代の出来事の新しいバージョンとなる終わりの時の出来事を30以上予言している。

古代のアッシリアとエジプト



終わりの日の...

アッシリア

エジプト



5. イザヤ書は文学手法によってつながったネットワークを構成している

- イザヤ書では、終末の神のしもべと終末のアッシリア王の暗号や別名として、多くの仮名が使われている。

終末の神の僕を指す暗号	終末のアッシリア王を指す暗号
文脈による暗号： 旗、主の腕・手、鞭、杖、口、声、火、剣	文脈による暗号： 旗、主の腕・手、鞭、杖、口、声、火、剣
終末の神の僕のみを指す暗号： 光、義、しもべ、契約など	終末のアッシリア王のみを指す暗号： 闇、波、川、かみそり、雹、嵐、洪水、 主の左手、神の怒り、激しい憤り

- その他の暗号
 - 木＝人；森/林＝都会/町；山＝王国・国；清い動物（牛・羊など）＝契約の民；汚れた動物（しし、ひょうなど）＝契約の民でない民、など

6. イザヤの預言は、二種類のメシアについて語っている

- メシアの預言には二種類あることを忘れてはならない。第一は、終末の神のしもべの到来を示す預言
 - 古代の契約の民（ユダヤ人、十部族、リーハイの末裔）の回復に携わる
 - 終わりの日において、イスラエルの家が物理的に保護され解放されるために救済者として執り成しを行う（ダビデ、ヒゼキヤ、モーセなどが予型）
- 第二は、イスラエルの神エホバが来られることを示す預言
 - 「彼は私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために碎かれ、私たちの平和の代価を負い、その傷で私たちはいやされた」（イザヤ53：5）
 - 民を「罪」、「咎」から解放し、「平和」と「いやし」をもたらされるのは、イスラエルの神、エホバのみである。

7. 天国へのはしごを示す七つの霊的な段階が描かれている

エホバ	イスラエルの救い主である神
セラフ	天の御使い
息子たち/娘たち	神の僕たち
シオン/エルサレム	神の契約の民（悔い改めて戒めを守り、罪の赦しを受けた民）
ヤコブ/イスラエル	神を信じる者たち（まだ悔い改めていない民）
バビロン	悪事を働く者や虐げる者たち
滅び	悪を企み主導する者たち

※各段階の契約とそれに付随する律法を守ることによって、霊的なはしごを昇ることにより、人はさらに神の属性を身につけていく。